

東広島市史編さんだより

第6号 令和7(2025)年9月1日



「賀茂郡三升原柏原絵図（三升原部分）」（個人蔵）

この絵図は西条町田口のお宅で保管されていました。絵図に付けられた文書から三升原と柏原の境を明らかにし、それを住民に周知するため明治9年(1876)に作られたものと考えられます。

江戸時代の地誌である「藝藩通志」や「国郡志御用書出帳」、「国郡志御用書上帳」によると三升原と柏原は文化5年(1808)に開発が始まるまでは笹原が広がる場所でした。数年間かけて田が開かれ千年池などの池や水路が造成されていき、文化11年に家を建てる許可が出されたことにより、文政2年(1819)には三升原には田口村と大沢村から、柏原には吉郷村、小比曾村、田口村の人々が移り住むまでに至りました。

絵図の中央には「瓦焼所」「陶物焼所」「炮燂焼所」と書かれており、ここでは瓦や陶器、焙焙(豆などを炒るための素焼きの器)が作られていたことがわかります。東広島市では平成7年(1995)に三升原の瓦窯跡の調査を行っており、鬼瓦の破片や窯道具などが出土しています。「国郡志御用書出帳」にも農閑期の仕事として「瓦焼」「陶器焼」「炮燂焼」が挙げられ、土質についても「ねば土」と書かれており、この辺りは江戸時代から良質な粘土の産地であったことがうかがわれます。

この絵図は他にも深道池の堤や長野池に石垣が描かれていたり、黒瀬川に橋が2本描かれているなど当時の三升原と柏原の様子を伝えてくれる資料と言えます。

1

先行編刊行記念 特別寄稿

酒部会部会長の棚橋久美子先生より先行編の刊行を記念して寄稿いただきました。



東広島市史先行編『東広島^{かも}の酒造り — 米・水・人が 醸す歴史 —』の編さんを終えて

東広島市史編さん専門部会
酒部会長 棚橋久美子

令和3年度から10年計画で始まった東広島市史編さん事業では、東広島市制施行^{しこう}50周年記念事業のひとつとして2冊の先行編が完成しました。2冊のテーマは、東広島市域が全国にその舞台^{ぶたい}としてよく知られている酒造りと特色のある初等教育です。私は部会長として、酒編の執筆と編集にあたりました。

2冊ともに、市民の方々に広く手に取って頂きたいとの編集方針に基づき、従来の町史や市史などの自治体史が500頁を超える重厚な書籍^{しよせき}なのに比べて、150頁ほどのブックレットでオールカラーです。叙述は中学生以上の方を^{じょじゆう}読者として想定し、言い換え^かが難しい専門用語には解説^{ほどこ}を施し、ふりがなもたくさん付けています。また、本文に関連する事項をコラムで紹介もしています。このように読み易さを心がけた叙述ですが、歴史研究の基本である史資料に基づく叙述や最新の研究成果を踏まえた叙述は怠^{おこた}っていません。現時点でできる限りのことは行ったと自負しています。

さて、東広島地域での酒造りに関しては、当市域の酒造りにとって重要な人物やでき事は、個別に研究が重ねられています。しかし、その始まりから現在までの歴史的変遷^{へんせん}（流れ）を叙述した研究成果は今までありません。そこで今回の酒編では、当市域での酒造りの始まりから現在までの変遷を史資料に基づいて明らかにし、日本全体の酒造りの動向との関連や地域社会との関わりも考察することを目指しました。

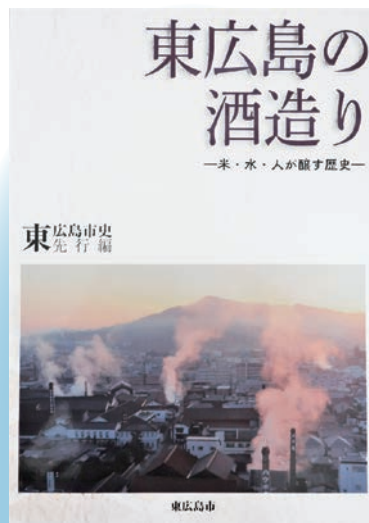
ところが、目標を定めたものの心配がありました。それは、目標を達成できるだけの史資料が果たして伝来しているのかということでした。史資料がなければ書くことが出来ないためです。しかし、心配は不要でした。史資料の調査を始めると、市民の方々が所蔵史資料や情報を寄せて下さり、従来は伝承でしかなかったことが史実と確認できたり、歴史事象（でき事）と歴史事象を繋ぐ事象がわかったりしました。調査にご協力頂き、大切に伝えて来られた史資料を見せて頂いた方々に感謝いたします。貴重な史資料により酒編の叙述はより明確に、内容はより豊かになりました。

酒編はどこから読んで頂いてもかまいません。当市域での酒造りの始まりから時間の経過に沿ってでも、目次をご覧になって興味を引かれた事項からでも、あるいはコラムを拾い読みでも。お読みになってのお気付きやご感想を寄せて頂くことで新たな考察を行い、当市域における酒造りの歴史がさらに明らかになると思っています。ぜひご一読下さい。

2

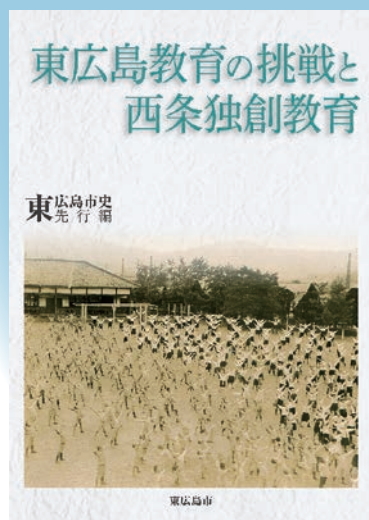
先行編のご紹介

「酒」と「教育」をテーマに2冊同時刊行しています。



東広島の酒造り — 米・水・人が醸す歴史 —

- 第1章 点在する酒蔵—江戸期
- 第2章 新しい銘醸地の誕生—明治期
- 第3章 酒都への成長と重ねる努力
—大正～昭和戦前期
- 第4章 地域の魅力を醸す「酒文化」の発信へ
—昭和20年代～現在



東広島教育の挑戦と 西条独創教育

- 第1章 学校教育の創設
- 第2章 国家主義教育体制の構築
- 第3章 教育の新展開
- 第4章 地域に引き継がれる西条教育
- 第5章 東広島市の誕生と新しい教育の伝統
- 第6章 平成・令和期 西条独創教育を東広島教育に

定 価 各1,300円（税込）

購入方法

次のいずれかで購入出来ます。

市役所又は書店にて

- ・東広島市教育委員会生涯学習部文化課（東広島市役所北館2階）
- ・啓文社西条店（ゆめタウン東広島別館2階）
- ・黒田文陽堂
- ・道の駅西条のん太の酒蔵
- ・道の駅湖畔の里福富

オンラインにて

- ・ぎょうせいオンラインショップ
- ・Amazon

「江戸時代から現代までの酒造りの歴史と文化」と「西条独創教育」を中心に明治から現代までの東広島の初等教育の足跡を紹介する2冊です。

3 市史の資料を集めています

資料を求める呼びかけに応じて貴重な資料の提供をいただいております。ご協力^{いた}頂いている皆様に感謝申し上げます。

市史編さん係ではまちの歴史や東広島市らしさを語ってくれる次のような資料を引き続き探しています。

- 古い書物や手紙、日記
- 昔の行事のチラシや新聞記事
- 東広島市域で撮影された風景写真や家族写真
- 古い絵葉書
- 古い町並みなどを記した地図や絵図
- 和紙に^{すみ}墨で書かれた書状や帳面

このような資料があるときは、ぜひこちらへご連絡ください。皆様の情報提供をお待ちしています。

〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号
東広島市教育委員会
生涯学習部文化課 市史編さん係
TEL：082-420-0977 FAX：082-422-6531



事務局通信

今年の夏は^{ぎ おんまつり}祇園祭の調査で訪れた神社でいくつかの^{こまいぬ}狛犬と出会いました。大きなものや球に乗ってポーズをつけたもの、造形に凝ったものなどの中に子連れの狛犬がありました。子連れの狛犬といえは角のある方（^{れいじゅう うんぎょう}霊獣：吽形）が子どもを伴っているイメージでしたが、その神社では両方の狛犬が子どもを連れていました。子連れの狛犬は2対あり、それぞれの台座には「^{おのみちいしく}尾道石工」「白市住石工」とあったことから尾道や白市で作られたものとわかり、地元の石工さん達の創意工夫を感じました。



東広島市史編さんだよりー第6号ー

発行日 令和7（2025）年9月1日
編集・発行 東広島市教育委員会 生涯学習部 文化課 市史編さん係
〒739-8601東広島市西条栄町8番29号
TEL: 082-420-0977 FAX: 082-422-6531
E-mail: hgh200977@city.higashihiroshima.lg.jp
印刷 一般社団法人東広島自立支援センターあゆみ